

※国立教育政策研究所『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』を参考に作成する。

那覇教育事務所様式

## 特別活動 学級活動(3) 指導案作成例

### 第5学年〇組 学級活動(3) 指導案

題材は教師が設定する。

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時

指導者 教諭 〇〇 〇〇

年間指導計画 5学年 題材 学級活動(3) 一人一人のキャリア形成と自己表現

- 1 題材 「6年生に向けて」  
学級活動(3) ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

#### 2 題材について

※以下に示した項目の内容を含んだものにして記述すること。

- (1) 児童の実態 (略)  
・児童の学級生活における実態  
・これまでの学級活動の取組 ・高学年の評価規準からみた実態と目指す方向
- (2) 題材選定の理由 (略)  
・本題材設定の理由 ・本題材における指導の工夫と評価との関わりについて

『指導と評価の一体化』  
のための～』P. 25第2  
編を参考にする。

#### 3 第5学年及び第6学年の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生きるための課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の良さを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。

※評価規準は、学習指導要領「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえて、学校ごとに設定すること。

#### 4 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
5年生のこれまでの振り返り、6年生へ向けた期待感を想起したりするアンケートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「6年生に向けて」のアンケートを用意し、5年生の生活を振り返った上で、6年生に向けての期待感を想起できるようにする。</li> <li>「キャリア・パスポート」等を活用し、これまでの自分の成長に気づけるようにする。</li> </ul>	◎アンケートに答えることで、5年生の生活を振り返ったり、6年生に向けての期待感を抱いたりして、学習への見通しをもとうとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉

#### 5 本時のねらい

最高学年になっていくための見通しをもち、そのために必要なことについて話し合い、自分に合っためあてを立てて実践できるようにする。

6 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点	資料	◎目指す児童の姿 【観点】《評価方法》
導入 つかむ 5分	1 アンケート結果から、6年生になるに当たっての自分たちの思いについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果をもとにして、6年生に向けて期待感を抱いていることに気付けるようにする。</li> <li>「キャリア・パスポート」をもとに自分たちの成長を想起できるようにする。</li> </ul>	アンケート結果の表  「キャリア・パスポート」	
<b>なりたい6年生に向けて、自分が実践することを決めよう</b>				
展開 さぐる 10分	2 6年生になったら、どんなことをがんばっていきたくかについて話し合う。 ・委員会活動 ・クラブ活動 ・運動会 ・歴史の学習 ・更に成長したい ・1年生のお手伝い  3 6年生からのメッセージ映像を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年生が活躍していた場面などの写真を活用し、最高学年として自覚と責任をもって行動する場面が増えることに気付けるようにする。</li> <li>6年生からのメッセージ映像を用意し、「6年生としての心構え」や「自分たちが努力してきたこと」、「励ましのメッセージ」などについて語ってもらうことで、5年生が6年生へと成長していくために必要なことに気付くことができるようにする。</li> </ul>	6年生が活動する様子の写真  6年生からのメッセージ映像	
見つける 20分	4 どんな6年生になりたいか、そのためにどんなことが必要かを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カードを用意し、一人一人が考えた上で話し合うことができるようにする。</li> </ul>	学習カード	◎なりたい6年生の姿を明確にし、そのために必要なことについて考え、前向きに話し合っている。
終末 決める 10分	5 これから6年生になるまでに自分が実践することを決め、伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここまでの話し合いで出された意見などを生かして、自分に合っためあてを学習カードに記入するよう伝える。</li> </ul>	学習カード	◎話し合ったことを生かして、自分が実践することを意思決定している。 【思考・判断・表現】 《観察・学習カード》

必要に応じてグループで不戦などを使い、考えを出し合った上で、全体で話し合う等の方法も考えられる

**【努力を要する活動の状況と判断される場合】**  
 は、板書や友達の発言等から、具体的な目標設定をするよう促す等、どのような支援をするかを具体的に設定しておく。  
 (指導上の留意点などに記述すると良い。)

## 7 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
意思決定しためあてを意識して実践する。	・一人一人のめあてを掲示するなどして、実践への意欲付けとなるようにする。	◎意思決定したことを実践している。 【思考・判断・表現】 〈観察〉
実践について振り返る。 (年度末までの各月末の帰りの会など)	・振り返りを行う機会を設定し、継続した実践になるようにしたり、必要に応じて新たにめあてを立てて知折り組んだりできるようにする。	◎実践を振り返り、現在及び将来に向けての学校生活や日常生活に生かそうとしている。 【主体的な態度】〈学習カード〉

※評価は、本時のみで見取るのではなく、事前・事後も確実に評価すること。

## 8 板書計画 (略)

※国立教育政策研究所「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる 特別活動 小学校編」などを参考にすること。

### 《参考・引用文献》

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編』（文部科学省 2017年）

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』

（文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 2020年）

『楽しく豊かな学級・学校生活をつくる 特別活動 小学校編』

（文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 2018年）